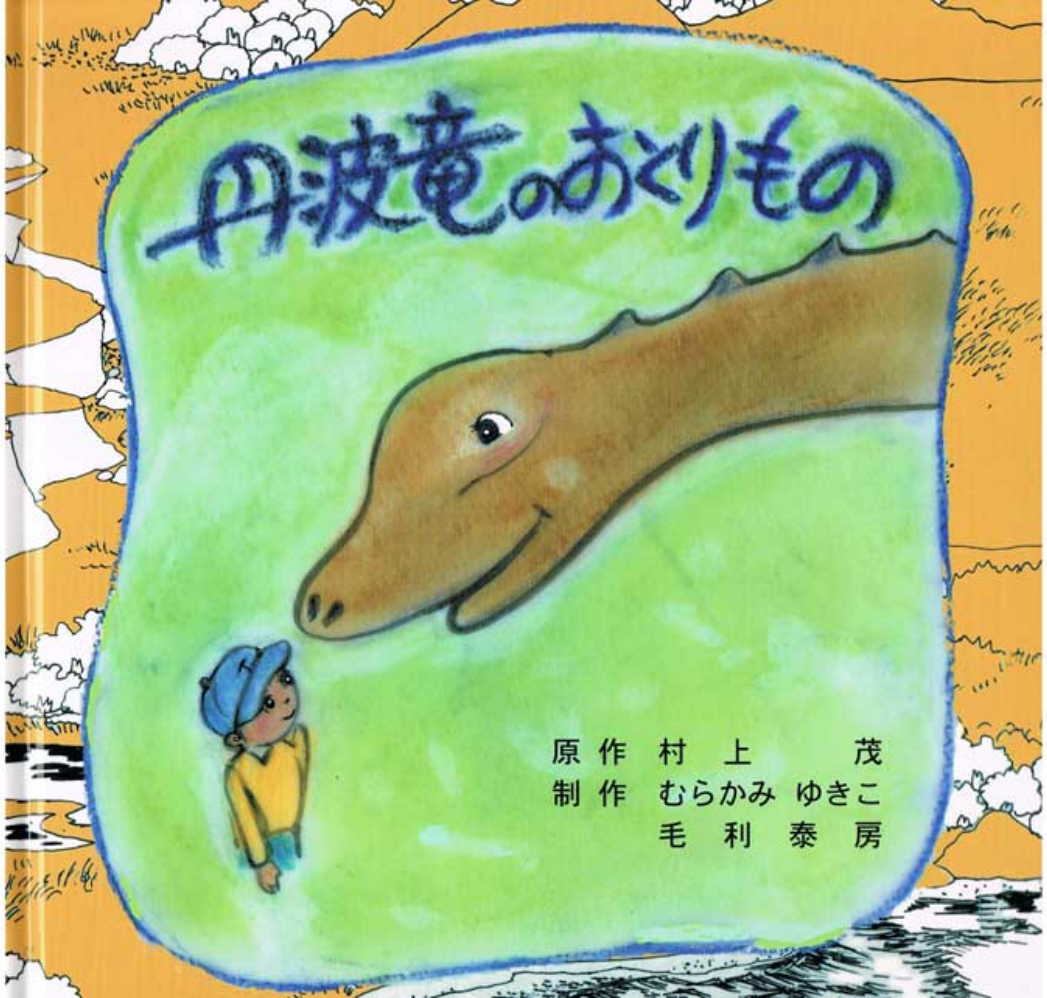

円波竜のおくりもの
原作 村上 茂
制作 むらかみ ゆきこ
毛利泰房

丹波竜のおくりもの
原作 村上 茂
制作 むらかみ ゆきこ
毛利泰房

ぼくは野球が好き。
でも、もっと気になるものができた。
ぼくのまちに
大むかし恐竜がすんでいたんだって。
今日、発掘(はっくつ)現場にいって
ワクワクしてしまった。

ぼくはグローブをみがいていても
恐竜のことばかり考えていた。

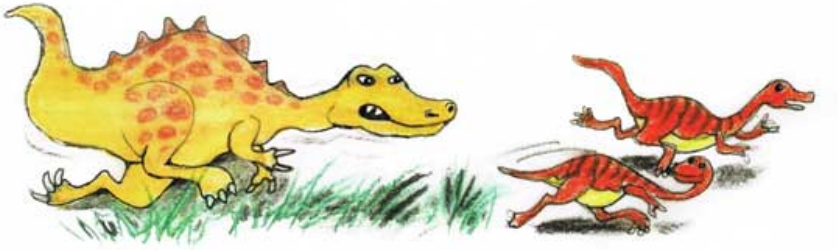
ぼくは気がつくと
人も車も何もない広場に立っていた。

野球のグラウンドかな…と思ったけど
もっと広くて、遠くから
動物のなき声がきこえてきた。

なき声の方へ走っていくと
見たこともないような動物たちが
ゆったりとくつろいでいた。

もしかすると
ここは恐竜の世界？
1億３０００万年前の世界？

…それなら
丹波竜がいるかもしれない。



ぼくは
首もしっぽも長い恐竜に近づいて
思い切って声をかけてみた。
「もしかしたら、
あなたは丹波竜ですか？
丹波では化石になった骨がいっぱい
みつかって大騒ぎになってますよ。」
「そうか…わしの骨の化石を
人間がみつけたというのか？」
「そう！きれいな骨が
たくさんみつかったよ。
しっぽも胴体の骨もたくさん！
歯も頭の部分の骨もね。」

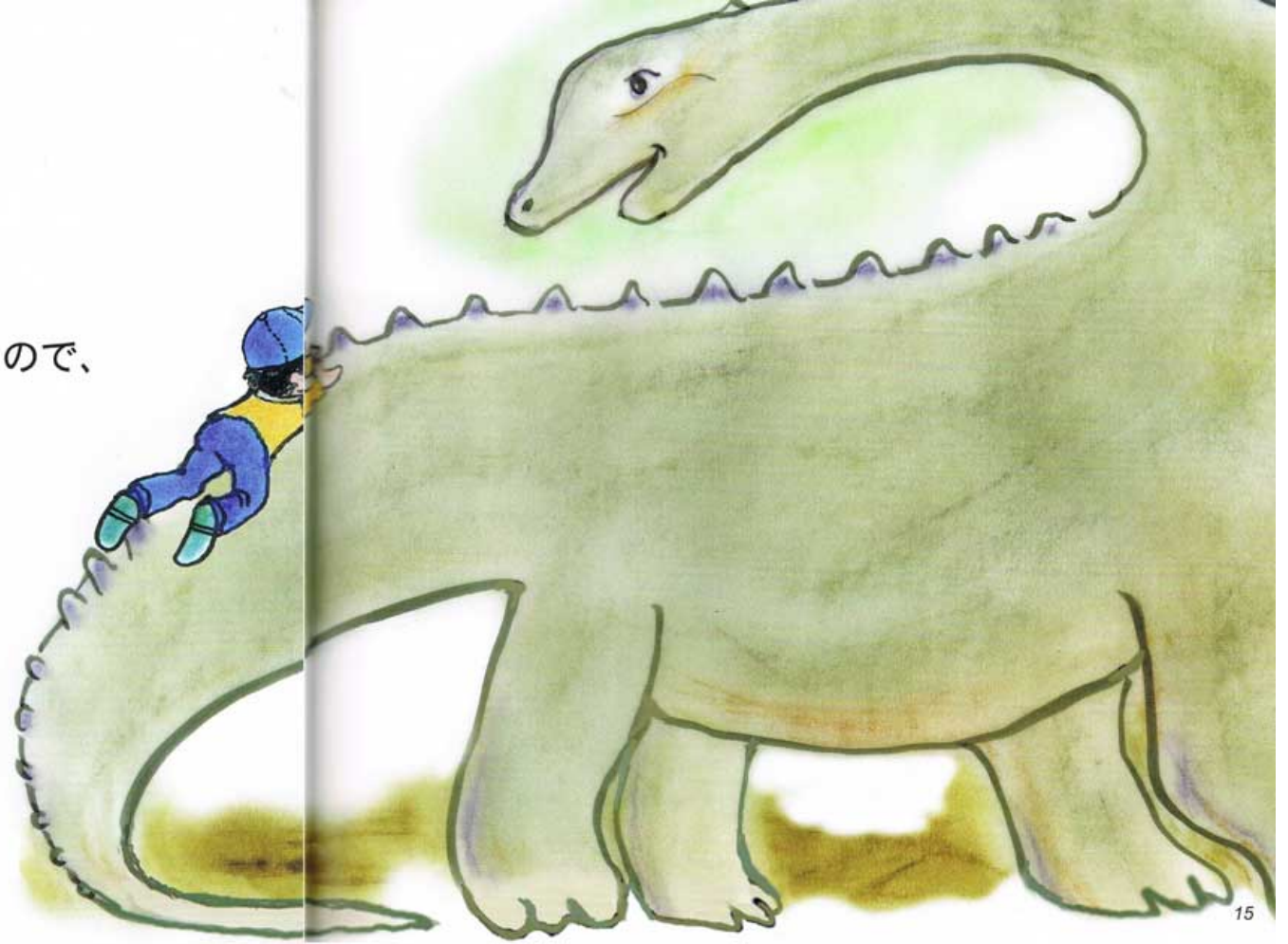
ふとまわりを見ると
肉食動物が
死体に群(むら)がっていた。
そのうちの一頭は
丹波竜と一緒に
みつかった
テラノサウルスだ。

ぼくも食べられてしまうのではないか
…とこわくなったけど、

ぼくには気づかなかった。

「人間の世界は
　どんなところだ？」
丹波竜が話かけてきた。
ぼくはうれしくなって
大きな声で答えた。
「みんな家に住み、
　子どもは学校に行き、
　大人は仕事をしている。
　車や電車が走り、
　恐竜より大きいジャンボ機も
　空をとんでいる。
　ここの風景とは
　ぜんぜん違(ちが)うよ。」

丹波竜は静かに聞きながら
「どうだ、わしらの世界を
もっと見てみるかね？
わしは足を折りたためないので、
しっぽを下げるから
のぼっておいで。」と。



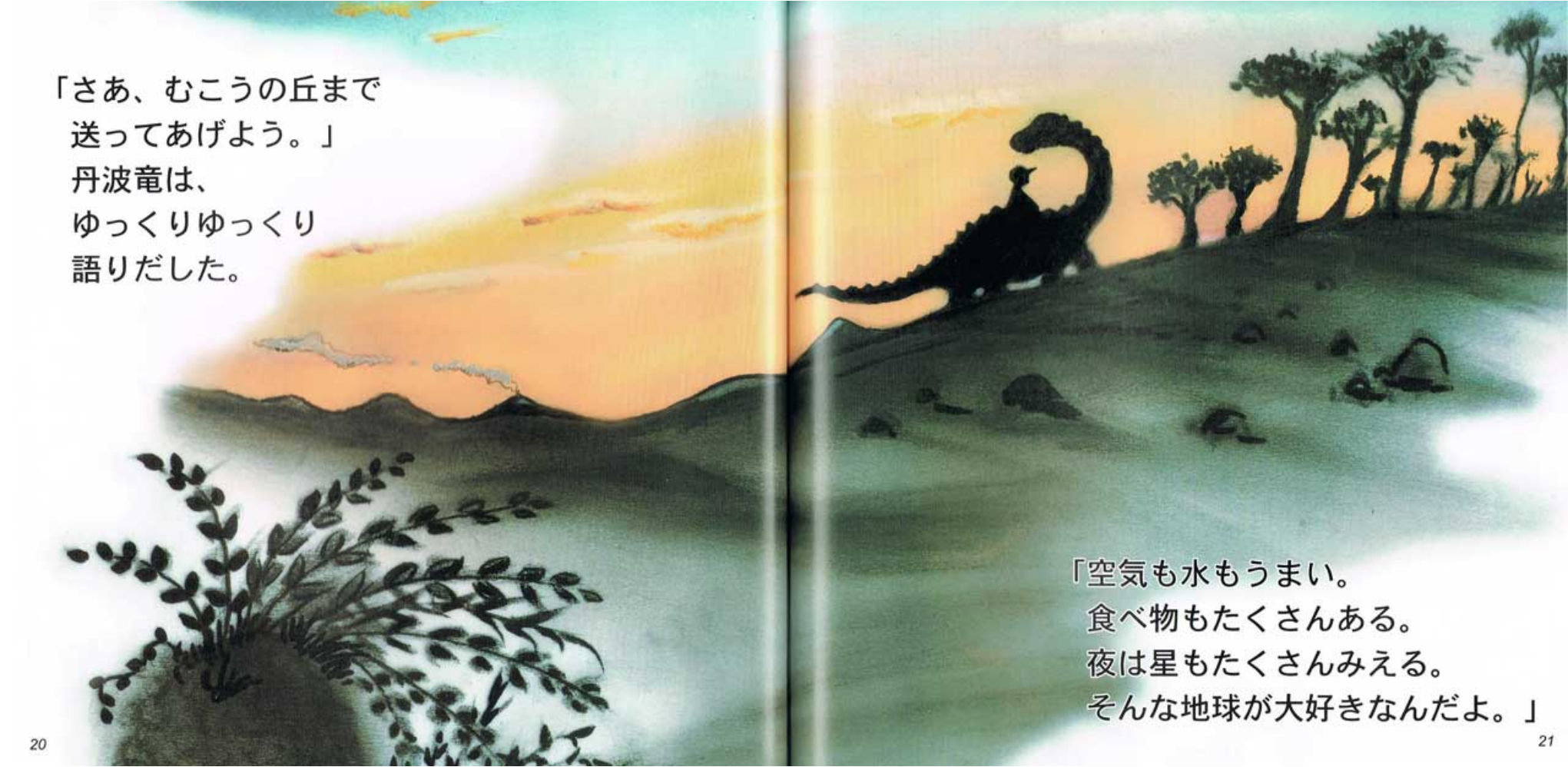
ぼくの目の前に恐竜世界が広がった。

肉食恐竜に食べられる
小さな恐竜をみて
「ざんこくだー！」と叫んだ。

すると丹波竜は
「強いものが生きのびるのは
自然のことなんだよ。
わしのように大きくても、
一度倒(たお)れたら重くて
起き上がることが
できない。
あとは肉食恐竜に
食べられるだけ…」
「ぼくらの世界でも
殺しあったりすることも
あるよ。」

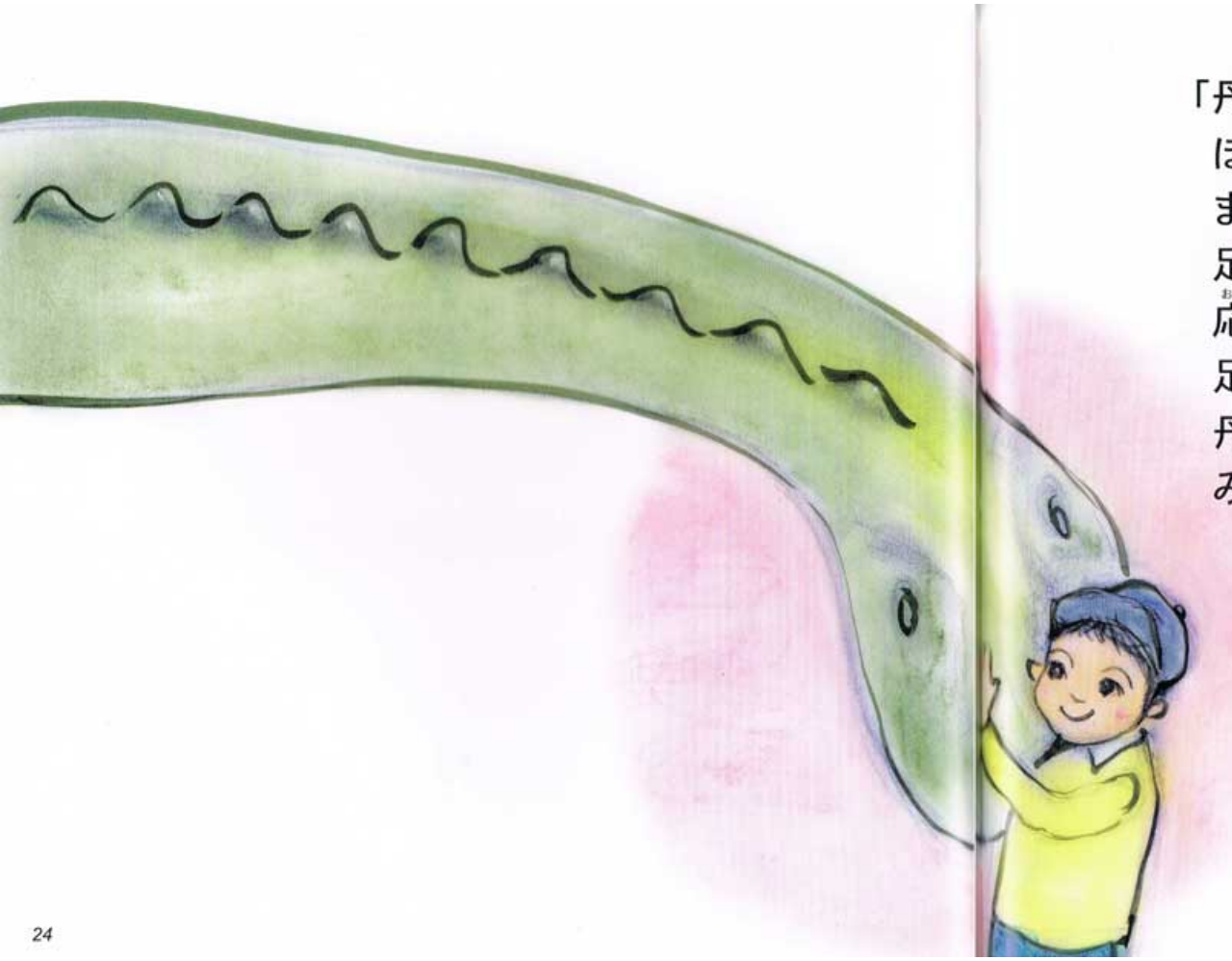
「いや、それは
あってはならないことだ！
しかし、わしらの世界は
強いものが勝ち残ることによって
うまくいっているんだよ。
自分のいのちを次に渡しながら
いのちのバトンリレーを
しているんだよ。
人を殺すのとは、
ぜんぜん違うんだ。
もっと人間は
いのちを大切にしないと
いけないよ。」

丹波竜が力をこめて
話してくれた。



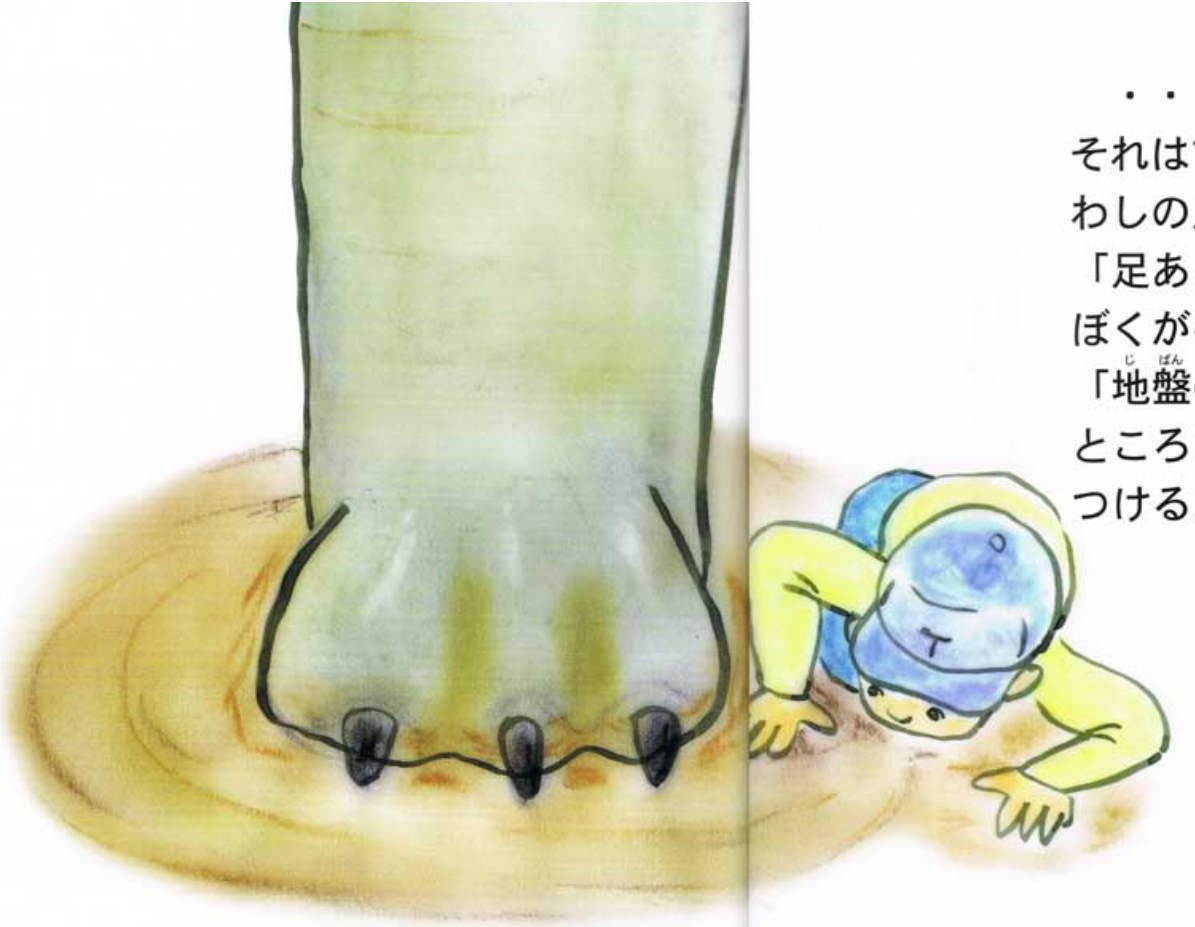
「さあ、むこうの丘まで
送ってあげよう。」
丹波竜は、
ゆっくりゆっくり
語りだした。

「空気も水もうまい。
食べ物もたくさんある。
夜は星もたくさんみえる。
そんな地球が大好きなんだよ。」



「丹波竜さん、ありがとう！
ぼくはまた化石発掘現場へ行って、
まだ見つかっていない
足の骨が発見されるように
応援するね。
足が見つかって
丹波竜の全部の骨が発見されたら、
みんな大喜びするよ！」

すると丹波竜は
「わしの足の骨を
もってかえるかい？・・・



・・・といいたいところだが、
それはできないので、
わしの足あとをあげよう！」
「足あと？？？」
ぼくがキョトンとしていると
「地盤（じばん）のやわらかい
ところに足あとを
つけるから、
その部分を取り出して
もちかえりなさい。」

ぼくは地面すれすれに
のぞきこんだ。

あ・・・その大切なおみやげに
顔をつっこんでしまった気がして、
ふと目がさめた。
顔をつっこんだのは
足あとではなくグローブ。

あっ！！
グローブと足あとは同じ形だ！

ぼくは
目をこすりながら
窓をのぞくと
そこには
さっきまで
恐竜と一緒に
みていた
お月さまが、
笑っていた。

この絵本は2006年８月に兵庫県丹波市で発見された国内最大級の草食恐竜、丹波竜をテーマにしたものです。現在も発掘調査が続いていますが、前期白亜紀（１億３千万年前）に生きた丹波竜と現代の男の子との交流を通じて命の大切さや地球の環境問題など大人と子どもが一緒になって考える機会に活用していただければ幸いです。

村上　　茂

「十五夜の満月を見ながら、この月を丹波竜も白亜紀に見ていたのだろうな…と思ったら絵本を作りたくなった」と村上茂さんから話を受け、心が動きました。

恐竜世界の描写は恐竜大好きのイラストレーター毛利泰房さんが、快く力をかして下さいました。

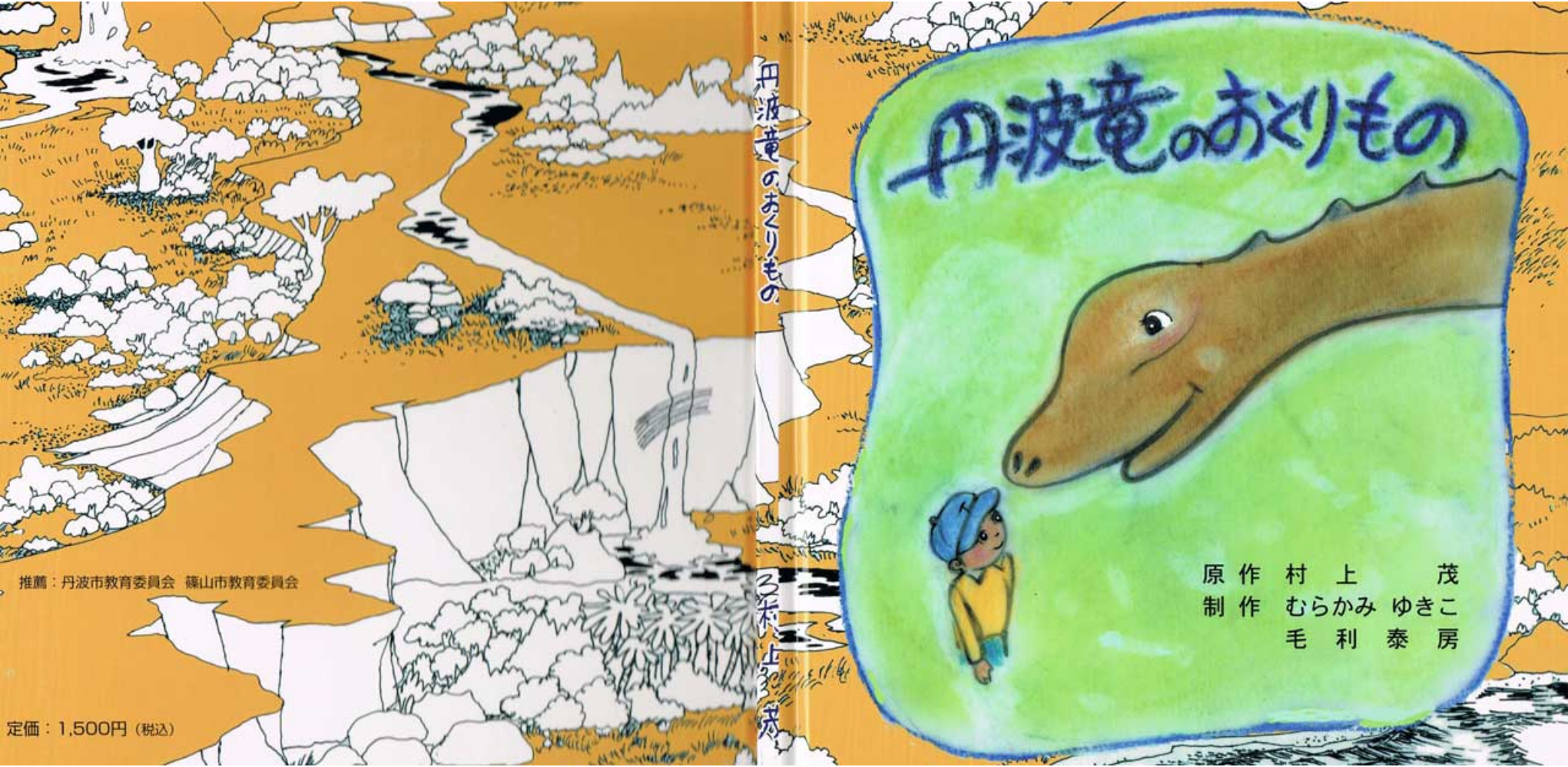
2010年２月現在、未発見の足の骨がキーポイントで足あととグローブが白亜紀と現代をつないでいます。

小さいお子さまには、大人がやさしいことばで語り、一緒に楽しんで下さい。

むらかみ　ゆきこ

丹波竜のおくりもの

原　作　村　上　　茂（丹波竜化石発見者）
制　作　むらかみ ゆきこ（絵本作家）
　　毛　利　泰　房（イラストレーター）
発行者　上久下地域自治協議会
　　兵庫県丹波市山南町下滝　電話0795-78-0001
印刷・製本・販売協力
　　株式会社 丹波新聞社


丹波竜のおくりもの
原作 村上 茂
制作 むらかみ ゆきこ
毛利泰房
丹波竜のおくりもの
毛利泰房
推薦：丹波市教育委員会 篠山市教育委員会
定価：1,500円（税込）